



株式会社 浅沼組

会社説明会

2022年5月28日（土）

東証プライム市場

証券コード：1852

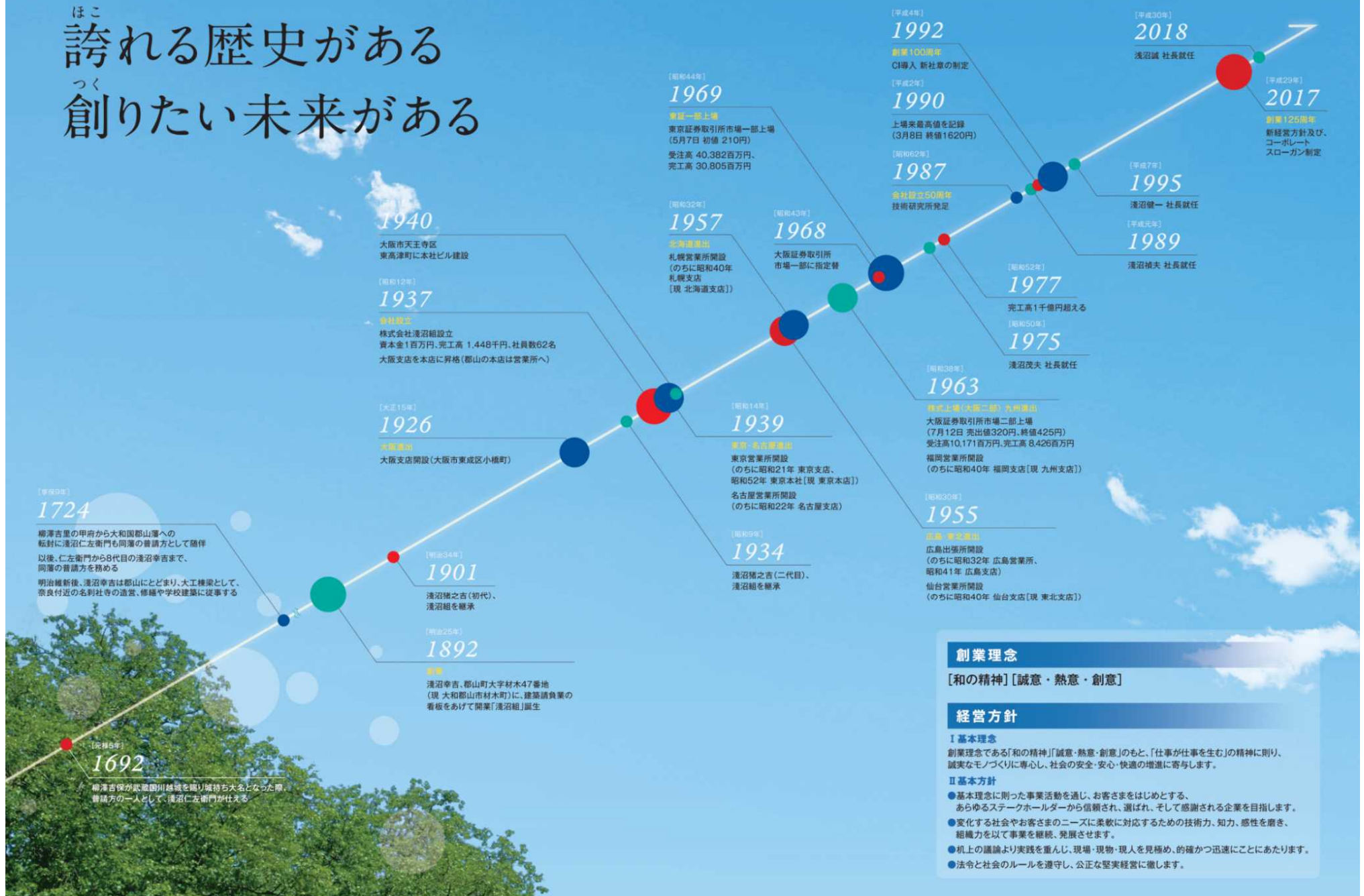
はこ
誇れる歴史がある
つく
創りたい未来がある



1. 浅沼組のあゆみ
2. 中期3ヵ年計画
3. 株主還元
4. 社会貢献活動
5. その他の活動



ほこ 誇れる歴史がある つく 創りたい未来がある



創業理念

[和の精神] [誠意・熱意・創意]

経営方針

I 基本理念

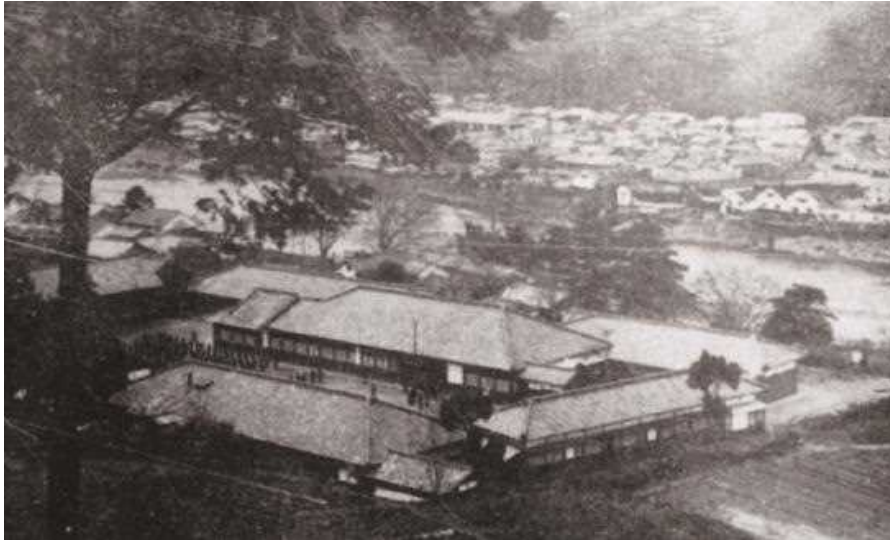
創業理念である「和の精神」「誠意・熱意・創意」のもと、「仕事が生きていく」の精神に則り、
誠実なモノづくりに専心し、社会の安全・安心・快適の増進に寄与します。

II 基本方針

- 基本理念に則った事業活動を通じ、お客さまをはじめとする、
あらゆるステークホルダーから信頼され、選ばれ、そして感謝される企業を目指します。
- 変化する社会やお客さまのニーズに柔軟に対応するための技術力、知力、感性を磨き、
組織力を以て事業を継続、発展させます。
- 机上の議論より実践を重んじ、現場・現物・現人を見極め、的確かつ迅速にこににあたります。
- 法令と社会のルールを遵守し、公正な堅実経営に徹します。

1882

吉野師範学校



1892

奈良県立郡山中学校



1896

奈良県立畝傍中学校

1929

大阪市立桃山病院



1961

大和郡山市庁舎



1968

大阪万国博プレスセンター



1970

万博 ラオス館



1995

戸ノ内災害
復旧工事



1997

3号神戸線復旧工事



1995

東海道線御影 B V 外災害復旧工事



1995

鷹取駅災害応急復旧工事



2003

シティータワー大阪
CFT構造賞



2008

京都大学 稲盛財団記念館
BCS賞



2016

城東区複合施設
大阪都市景観建築賞
(大阪まちなみ賞)



2008

宮内庁
正倉院事務所
BCS賞



2020

嘉麻市新庁舎

ウッドデザイン賞 2020
日本コンクリート工学会賞
福岡県木造・木質化建築賞

入賞
作品賞
優秀賞



2014

コスモスふきあげ館
公共建築賞



2018

岩手県宮古市宮古港鋤ヶ崎地区
港湾高潮対策事業
全建賞

— 基本方針 — 浅沼組らしさ(独自性)を深耕させ「変化に挑戦」

外部環境変化 への挑戦	★ 長期的に縮小する国内建設投資とインフラ・建築構造物の老朽化により、堅調に推移する国内維持・修繕事業投資
	1. ASEAN地域におけるリニューアル事業への取り組み強化継続等 2. 『ReQuality』リニューアルブランド戦略の推進等 3. 耐震技術の拡充と免震・制振技術の高度化による防災・減災、国土強靱化、関連事業への取り組みの強化
	★ 建設分野における生産労働人口の減少
	1. I C T 関連システムの活用と導入の推進 2. 協力会社との協働推進
	★ 非財務経営活動(E S G ・ S D G s など)による企業評価向上の機運
	1. 「E」：エコフレンドリーASANUMA21の推進等 2. 「S」：『ReQuality』の一環でW E L L 認証の取得等 3. 「G」：政策保有株式の削減

中期3ヵ年計画の目標と2022年3月期業績



(単位：億円)

主な指標 (連結)	2022/3期			2023/3期			2024/3期
	中期計画	実績	中計比	中期計画	修正計画	中計比	中期計画
受注高	1,321	1,366	45	1,415	1,416	1	1,466
完成工事高	1,390	1,344	△46	1,345	1,433	88	1,363
完成工事粗利益	136	131	△5	149	143	△6	151
完成工事粗利益率	9.8%	9.8%	—	11.1%	10.0%	△1.1P	11.1%
販管費	86	86	—	87	90	3	87
営業利益	53	48	△5	65	56	△9	67
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	37	△4	44	41	△3	45
次期繰越工事高	1,392	1,478	86	1,462	1,461	△1	1,565
配当	363円	363円 (予定)	—	* 191円 (382円)	* 191円 (382円)	—	* 197.5円 (395円)
配当性向	70.2%	78.1%	7.9P	70.1%	74.8%	4.7P	70.4%

* 当社は、2022年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって分割する予定であるため、2023年3月期の1株当たりの配当予想については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

中期3ヵ年計画の目標と2022年3月期経営指標



- 営業利益率 : 2024年3月期において5.0%以上を確保
- 自己資本利益率 (ROE) : 3ヵ年とも10.0%以上を確保
(株主資本コストを上回る水準)
- 投下資本利益率 (ROIC) : 3ヵ年とも資本コストを上回る水準

主な経営指標 (連結)	2022/3期			2023/3期			2024/3期
	中期計画	実績	中計比	中期計画	修正計画	中計比	中期計画
営業利益率	3.8%	3.6%	△0.2P	4.8%	3.9%	△0.9P	5.0%
自己資本利益率 (ROE)	10.1%	9.0%	△1.1P	10.2%	9.5%	△0.7P	10.0%
株主資本コスト	8.0%	7.5%	△0.5P	8.0%	7.5%	△0.5P	8.0%
投下資本利益率 (ROIC)	7.1%	6.4%	△0.7P	8.3%	7.3%	△1.0P	8.3%
資本コスト (WACC)	6.0%	6.1%	0.1P	6.0%	6.0%	—	6.0%

国内 建築リニューアル

(単位：億円)

	2022/3期			2023/3期			2024/3期
	中期計画	実績	中計比	中期計画	修正計画	中計比	中期計画
受注高	200	166	△34	250	200	△50	300
完成工事高	200	171	△29	250	180	△70	300
営業利益	12.0	13.8	1.9	14.5	11.6	△2.9	17.4
営業利益シェア	22.5%	28.5%	6.0P	22.2%	20.7%	△1.5P	25.8%

目標

2024年3月期に国内の建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の25%に

ASEAN 建築リニューアル

受注高	14	26	18	65	67	2	66
完成工事高	18	23	7	63	78	15	66
営業利益	0.5	△0.2	△0.7	5.6	4.8	△0.8	6.8
営業利益シェア	0.9%	△0.4%	△1.5P	8.6%	8.6%	—	10.1%

目標

2024年3月期にASEANの建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の10%に

建築リニューアル 計

営業利益シェア	23.4%	28.1%	4.7P	30.8%	29.3%	△1.5P	35.9%
---------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------

目標

2024年3月期に建築リニューアルの営業利益を連結営業利益の35%に

シンガポール 2社 M&A完了		
名 称	事業内容	取得
SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.	建物塗装・修繕工事	2018年10月
EVERGREEN ENGINEERING & CONSTRUCTION PTE. LTD	建物メンテナンス 電気・設備工事	2022年1月
タイ 2社 設立完了		
名 称	事業内容	設立
Thai Asanuma Holdings Co.,Ltd.	持株会社	2021年6月
Thai Asanuma Construction Co.,Ltd.	高速道路・橋梁のメンテ ナンス	2021年7月

『ReQuality』の第1弾 名古屋支店改修PJ

2-7Fベランダ



8F会議室



全景



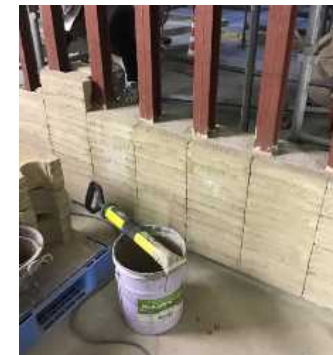
・ 自然素材（土・木）を多用



ヘルスケア空間改修

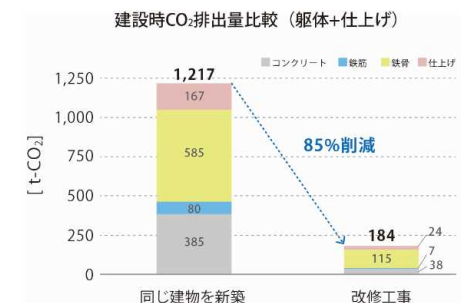


廃材（石材）から作った
応接セット



残土を利用した
環土ブロック

- ・ 新築として建て直す場合と比べ、CO2排出量を85%削減
- ・ 改修前に比べ、エネルギー消費量を52%削減、ZEBready認証 取得
- ・ 健康・快適性を基準に建物を評価するWELL認証を取得予定
(築30年のビル全体をリニューアルし、認証を受けるのは日本初)



技術研究所 増築、改修（2019年3月末オープン）

①	研修エリアを拡充 ・ 若手社員や協力会社の技術者の研修、体験型教育の実施
②	耐震・免震技術の高度化 ・ 地震モニタリングシステムを設置した制震構造 ・ 試験機器の更新
③	多目的実験スペースの設置 ・ 全天候対応の大型実験スペース
④	I C T 関連システム（BIM,CIM,3D,VR）の活用と導入の推進

①既存棟
研修エリア



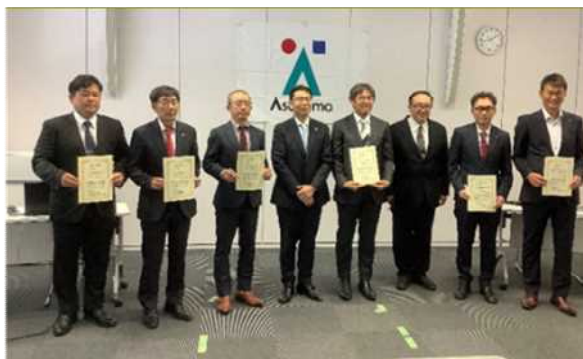
②増築棟 制震ダンパー



全景



③増築棟 多目的実験スペース

建設キャリアアップシステム（CCUS）の推進	○建設業の魅力向上に向けて、建設技能者の処遇改善、キャリアパスの明確化、施工能力の見える化を目的としたシステム ・サポート事務局設置 2021年10月1日～2022年6月30日 ・オンライン説明会実施済み（2021年9月から12月に6回）
浅沼マイスターの推進	・協力会社の職長の中から浅沼マイスターとして選任 ・奨励金の授与を行い賃金面からの処遇を改善
作業所生産性向上策表彰 及び発表会開催	○各作業所における協力会社との協働による生産性向上策を募集表彰、発表会を開催（第3回を2021年10月29日実施） （コスト削減、工期短縮、新技術導入など77編）  

○「サステナビリティ推進委員会」主な取り組み（2021年11月設置）

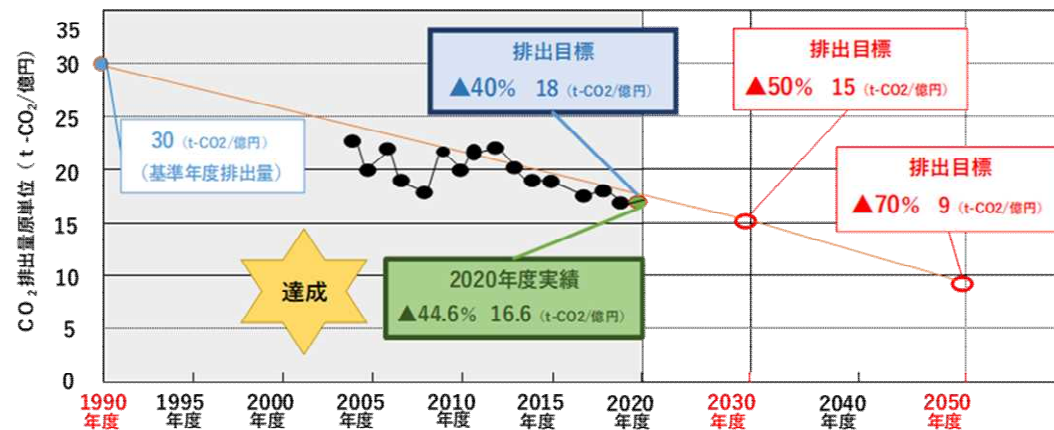
① 環境経営推進に向けた取り組み

環境技術の導入・開発（技術発表会での「環境技術賞」創設）

② TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）関連活動の推進

○気候変動関連の中長期的目標

**「施工高1億円当たりのCO2排出量を1990年度比で
2030年度までに50%、2050年度までに70%削減」**

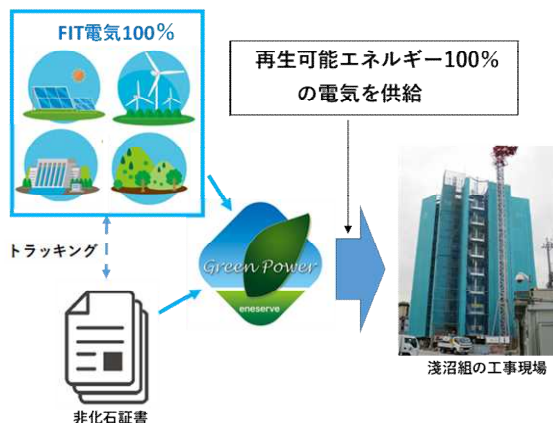


今後の活動

- ③ サステナビリティ経営における「KPI」設定とそれに関する資金投資の検討
- ④ 中核人材の多様性確保と人材育成方針等の推進
- ⑤ 人権に配慮した施策の推進
- ⑥ DX推進委員会を設置し、施工系デジタル技術関連の一元管理を推進

施工段階でのCO2削減

全作業所で再生可能エネルギー
100%の電力使用開始



作業所の地球温暖化防止
対策ガイドライン改定

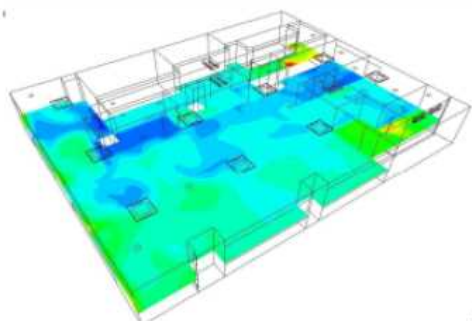


CASBEEへの取り組み
設計施工案件で建築環境総合
評価システム導入し、
Aランク評価を50%以上に

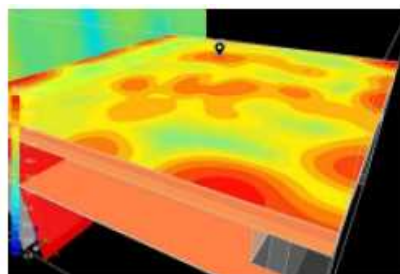


脱炭素化技術

環境シミュレーション
屋内環境のコストと快適性の向上を提案

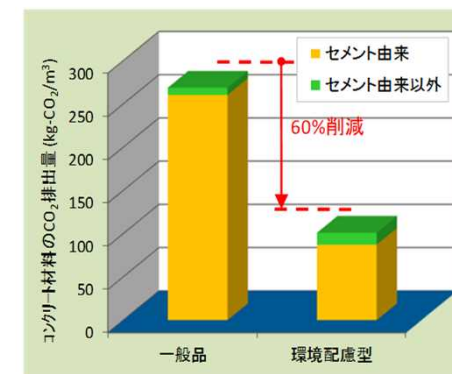


温度・湿度シミュレーション



音響シミュレーション

環境配慮型コンクリート
耐久性を確保しCO2を60%削減



目標：2022年3月末までに政策保有株式の残高を連結純資産の10%未満に

上場株式の保有適否判断基準

配当と工事粗利益の便益が「株主資本コスト」を下回る場合に縮減

2022年3月末 株主資本コスト 7.5%

	2021/3末	2022/3末
上場株式残高	55.6億円	37.5億円
連結純資産比率	13.3%	8.8%
便益（配当・工事利益）/*時価	20.1%	32.9%

* 時価：貸借対照表 表示額

2021年11月18日開示

「新領域関連投資（ASEAN地域リニューアル事業拡充、コンセッション事業推進等）」の一部の投資額が確定したことを踏まえ、それ以外の、コンセッション事業推進等に伴う投資や「技術開発・ＩＣＴ関連投資」も含めた全体の資金投入計画を改めて検討・見直しを行ったことにより、当初の資金投入計画を減額し、株主還元を増額。

	修正前	修正後	2022/3期 実績
技術開発・ＩＣＴ関連投資	30億円	29億円	15億円
新領域関連投資（M&A）	50億円	34億円	29億円
計	80億円	63億円	44億円

2021年11月18日開示 配当

	修正前	修正後	分割後
連結配当性向	50%以上	70%以上	
2022/3期	260円	363円	—
2023/3期	274円	382円	191円
2024/3期	282円	395円	197.5円

2022年3月31日開示 株式分割

目的：株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を向上させ、投資環境を整え、投資家層の拡大を図る。

対象：2022年7月31日の株主名簿に記録された株主の所有する弊社普通株式1株につき2株の割合をもって分割。

浅沼組 社会貢献基本方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

主な協賛団体の活動報告



日本身体障害者野球連盟
全国大会 2019/5/18・19
始球式の様子



日本ブラインドテニス連盟
スペイン国際大会 2020/6/9

大野選手
B1クラス男子の部優勝
大会MVP

「修羅と石」 展示場を提供

修羅とは築城の際に巨石などを運搬したそりの一種で、木製の台と丸太（ころ）から成り、郡山城の築城時にも用いられたとされています。



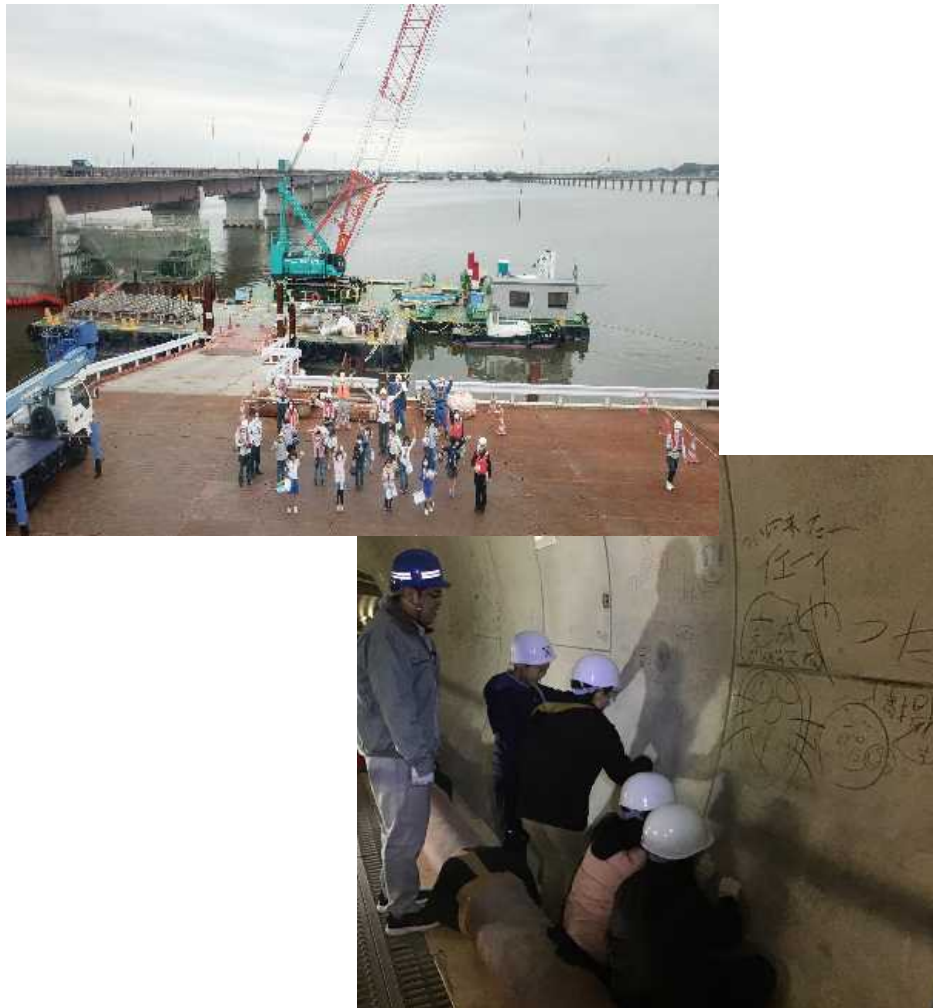
学園前アートフェスタ協賛

地域が一体となり、街を育てることを目的としたアートイベント。同地域に位置する「浅沼記念館」を会場の一つとして2015年の第1回より提供しております。



作業所での見学会の開催

地元自治会や小中高校など地域住民を対象とした見学会を開催しています。



文化・芸術活動支援

アートアンドアーキテクトフェスタ参加・協賛

東大寺で行なわれた建築学生ワークショップの様子



その他活動支援

大阪交響楽団 (<http://sym.jp/>)
 大阪フィルハーモニー交響楽団
 (<https://www.osaka-phil.com/>)
 関西二期会 (<https://kansai-nikikai.com/>)



名古屋支店改修記事掲載
新建築 2021年10月号

(その他掲載)

- ・日経アーキテクチュア 2021年11月11日号
- ・FRAU 2022年1月号 など

協働の成果を共有
浅沼組

浅沼組は、第3回となる「協力会社協働による作業所生産性向上策の表彰式・発表会」を開いた。広く募集した各作業所での生産性向上策の中から、社員投票と審査によって選ばれた社長賞2件と優秀賞3件を表彰した。それら5件の受賞事例の発表もあった。生産性の向上にとって新技術への対応だけでなく、努力と創意工夫が重要であることを相互に共有した。この取り組みは、協力会社で構成する弥生会との定期的な意見交換会から生まれた施策の1つとなる。



生産性向上策や創意工夫策こそが、浅沼組らしさの大きな柱の1つだと確信している」と強調した。写真。

続けて「作業所の生産性を向上させるには、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、会社全体に水平展開することが非常に有効だ。今回の発表内容に刺激を受けることで、ともに作業所で働く協力会社と知恵を出し合い、さらにたくさんの方々の生産性向上策が集まることを期待している」と述べた。

受賞事例は次のとおり。

〈社長賞〉

- ▽ユニット型枠による型枠施工の歩掛り向上施策Ⅱ大和郡山市新庁舎建設工事作業所(第五建設)
- ▽既設シールド接続工における機内薬液注入工法の採用Ⅱ広島旭町シールド作業所(ライト工業)

〈優秀賞〉

- ▽開口養生システムを用いた開閉可能な雨養生Ⅱ京セラ株式会社滋賀八日市工場1階装置付帯設備工事作業所(南都産業)
- ▽床打継レベルアングル固定の省力化Ⅱ(仮称)DPL横浜港北1新築工事作業所(アシスト高橋)
- ▽TIN F工法についてⅡ(仮称)伊勢原新工場作業所(東北企業)

2021/11/11 日刊建設通信新聞社

着工する全現場 再エネ100%導入

浅沼組

浅沼組は、2022年度から着工するすべての建設現場(作業所)に、原則として「再生可能エネルギー100%電力」を導入する。脱炭素社会の実現に向けた対応を加速することが狙い。

同社は、10年に全社的な地球温暖化防止対策活動「エコフレンドリーASANUMA 21」をスタートさせた。20年度に「施工高1億円当たりのCO₂排出量を20年度までに1990年比40%削減」という目標を達成。21年度から新たなCO₂削減目標を設定していた。

新たに設定したCO₂削減目標は「施工高1億円当たりのCO₂排出量を90年比で30年までに50%、50年までに70%削減」。そのための取り組みの1つとして、西日本を中心に作業所で再生可能エネルギー100%電力の導入を開始していたが、それを拡大・推進する形になる。

2022/4/13 日刊建設通信新聞社

(その他掲載)

- ・2022/4/14 日刊建設工業新聞社
- ・2022/4/16 建通新聞 など

社 名	株式会社浅沼組 (ASANUMA CORPORATION)
代 表 者 名	代表取締役社長 浅沼 誠
創 業	1892年（明治25年） 1 月20日
設 立	1937年（昭和12年） 6 月15日
資 本 金	9,614百万円
事 業 内 容	総合建設業
従 業 員 数	1,700名（連結） 1,273名（単体）（2022年 3 月31日現在）
本 社 所 在 地	大阪市浪速区湊町一丁目 2 番 3 号 マルイト難波ビル
本 支 店	大阪、東京、名古屋、九州、広島、東北、北海道、 さいたま、横浜、神戸、技術研究所
営 業 所	福島、茨城、千葉、多摩、北陸、静岡、三重、京滋、 奈良、沖縄、グアム



人間は、自然の一部になれるだろうか。

水、土、森。自然が生命を育んでいる。生命は、やがて土に還り、また次の生命の糧となる。そうやって循環しながら、自然は持続していきます。人間はその循環に、どう関わっていけばよいのでしょうか。あらゆる業界で、その姿勢が問われています。建設業界は、どうか。建設会社として多くの建物やインフラをつくってきた浅沼組は、思います。人間の環境を整備することは、地球環境に手を加えることでもある。人間にも地球にも、よい循環を建設できなければ、建設業の未来はない。そこで浅沼組は「GOOD CYCLE PROJECT」を立ち上げました。新しい素材や技術の開発、サービスの提供などが始まっています。これからの浅沼組に、ご期待ください。



プロジェクトを見る





株式会社 浅沼組

2022年5月28日（土）

ほこ
誇れる歴史がある
つく
創りたい未来がある



お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556